



2018年5月9日

各位

会社名 日立キャピタル株式会社
代表者名 執行役社長兼 CEO 川部 誠治
(コード番号:8586・東証第一部)
問合せ先責任者 経営企画部長 浜崎 一紀
(TEL:03-3503-2118)

個別業績(単独決算)の前期実績値との差異に関するお知らせ

2018年3月期の個別業績につきまして、前期(2017年3月期)実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2018年3月期個別業績と前期実績値との差異

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2017年3月期)	百万円 45,735	百万円 12,934	百万円 12,914	百万円 10,721	円 銭 91.73
当期実績値(B) (2018年3月期)	40,793	9,329	9,297	7,056	60.37
増減額(B-A)	△4,942	△3,605	△3,616	△3,664	—
増減率(%)	△10.8	△27.9	△28.0	△34.2	—

*当社は2015年3月期の有価証券報告書より、連結財務諸表は国際財務報告基準(IFRS)に準拠して作成しておりますが、個別業績につきましては、日本基準に準拠して作成しております。

2. 差異が生じた理由

主な要因につきましては、2018年3月期において、将来の成長を見据えた投資を実行したことや競争力強化を目的として日立キャピタル株式会社(以下、当社)のベンダーソリューション事業を当社の完全子会社である日立キャピタル NBL 株式会社に集約したことなどです。

以上